

レジメン名

NDP+5-FU+RT

出典

Esophagus(2005)2:133-137(JCOG9908)
Esophagus(2014)11:183-188(JCOG9905-D1)

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

食道癌

☒初発・進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐

投与減量の基準(化学療法)

WBC	2000/mm ³ 未満	NDP、5-FUを30%減量
PLT	5万/mm ³ 未満	
Grade3以上の口内炎、悪心、嘔吐、下痢		5-FUを30%減量

投与中止の基準(化学療法)

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
T-bil	2.0mg/dLを超える	sCR	1.2mg/dLを超える
その他		Grade2以上の非血液毒性	

1コース期間 35日

総コース数 4

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
フルオロウラシル(持続静注)	700mg/m ² *	輸液計960mL	24時間	day1-5
ネダブラチン(アクブラ)	80-90mg/m ²	生食500mL	2時間	day1
放射線	2Gy/回	合計60Gy		1サイクル目 day1~計30回で終了 照射例: day1-5,8-12,15-19,22-26,29-33,36-38
※出典は800mg/m ² だが、医師と協議の上、CP-RTに合わせて700mg/m ² とした				

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ポストメディケーション、 溶解液まで含む)
day1 <メイン> ①デキサート4.95mg+アロキシ0.75mg/バッグ(15分) ②ネダブラチン80-90mg/m ² +生食500mL(2時間) ③生食50mL(フラッシュ用) ④フルオロウラシル700mg/m ² +輸液計960mL(24時間持続) <側管> ③生食1000mL(4時間)
day2-5 <側管> ①デキサート3.3mg+生食50mL(15-30分) <メイン> ②フルオロウラシル700mg/m ² +輸液計960mL(24時間持続)
day6 <メイン> ①生食50mL(フラッシュ用)
《内服》 day1-3 アプレビタントカプセル(day1:125mg、day2-3:80mg) day1はネダブラチン投与1時間前に内服 *内服困難時はプロイメンドの使用を考慮(患者毎に薬剤部へ申請が必要。)
《放射線》 1サイクル目 day1-計30回 2Gy/day 計60Gy